

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 キタカワ	代表者	北川 博康	法人・事業所の特徴	『生活の継続性の尊重』、『残存能力の活用』、『自己決定の尊重』の三つの理念を共有し、利用者本位の視点を大切にしたきめ細やかな支援に努めている。同一建屋内に併設する居宅介護支援事業所やデイサービスセンターとは、合同で納涼祭や敬老会、運動会、餅つき等を開催し、地域の方々との交流を深める場にもなっている。又、隣接する特別養護老人ホームとは行事だけではなく、避難訓練や災害時の避難場所としても協力体制を整えている。 食事面では、栄養士による栄養管理の行き届いたバランスの良い食事を3食共に提供出来るだけではなく、毎月一回のグルメランチでは、ご当地の有名な食べ物が再現され好評を得ている。
事業所名	小規模多機能ホーム あゆ美	管理者	竹中 未喜江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		0人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	委員会や勉強会など紙面上での活動だけでなく実践的な活動も積極的に行っていきたい。	地域との協働では川祭りや秋祭りへの参加など、例年通りの活動しかできなかった。企業のオープンギャラリーへ作品を提供した。	<ul style="list-style-type: none"> ・『協働しないといけない』からやるのではなく利用者が楽しいと思えることをしてほしい。 ・地域での活動も大切だが、利用者の皆さんが楽しめているかどうかが一番大事だ。 	自己評価と改善計画を確認し、できるところから少しずつ実行していく。

B. 事業所の しつらえ・環境	季節感を演出する天井や壁面の飾りつけは今後も継続する。また感染予防対策は居心地の悪さを感じないように工夫しながら継続していきたい。	毎日の清掃に気を付けている。玄関先には季節の花を植え、利用者とともに世話をしている。感染予防対策は継続して行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除は行き届いている。 ・施設には季節を感じる花や利用者の作品が飾ってあり、微笑ましく拝見している。 ・よく散歩をされており、事業所の中に閉じこもりになっていないことがわかる。 	清潔感と季節感を意識し、好感が持てる施設であり続けることを目標とする。
C. 事業所と地域の かわり	これからも積極的に地域行事への参加を続けていきたい。もちろん、『あゆ美だより』の発行も継続していく。	あゆ美だよりはポスティングだけではなく近隣の医院や商店にも配布させていただいている。配布の際スタッフや近隣住民と交流し、施設の活動をお伝えしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆ美だよりで毎月の様子が分かる。利用者の笑顔の写真から楽しさが伝わってくる。 ・餅つきなど行事の際には訪問させていただいている。 	これまでと同様に、地域行事への参加と事業所からの情報発信を中心に、無理なく行えることを継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える 取り組み	ふれあい給食や川祭りなどの催しには積極的に参加している。これからは本人だけでなく遠方の子供たちにも催しの開催を知らせるなどし、帰省のきっかけになるような働きかけをしたい。	地域の大きな行事には遠方から帰省した子供たちも参加されていた。いい機会なので時間を取っていただき、家族としての思いや施設に対する要望も少しお聞きすることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民としては、地域の行事にどんどん参加していただきたい。地域の活性化にもつながる。 	散歩や公園散策など日常的に地域へ出かけ日頃からの地域住民との交流を大切にしたい。
E. 運営推進会議を 活かした取り組み	運営推進会議を通し、地域に根づく施設としてどのように地域と協働できるかを常に考えていきたい。	定期的な開催により、情報交換の場としては大いに役立っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告で地域行事の報告が出ると施設とのつながりを感じることができる。 	参加者にとって運営推進会議が少しでも有意義なものになるような議題を提案する。実際にイベントへ参加していただく等具体案は出ている。
F. 事業所の 防災・災害対策	BCPの周知徹底はもちろんであるが、訓練や研修を特定の職員が中心になって行うのではなく全ての職員が主体となって行えるよう意識付けをしたい。	施設内での防災訓練は何度か行ったが地域での訓練には至らなかった。また地域住民はBCPが発動されるような事態を想定することが難しいと感じている。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ひとり一人に危機意識を持っていただくのは難しいと思う。いざというときには地域役員と施設が主体となって動くしかない。 	日常的に防災に関する取り組みを行う。施設での取り組みを地域住民に発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月28日(13:10 ~ 13:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	5人	1人	0人	13人

前回の改善計画

- ・日勤日誌や申し送りノートを活用し、職員間の情報共有をしっかりと行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎職員が得た情報を現場職員に明確に伝達し、サービスの提供がスムーズに行えた。情報の取りこぼしがないよう職員一人一人が努力した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	5	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7	1	1	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	3	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	4	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人だけではなく家族とも積極的に関わりを持つことで情報収集ができている。
- ・職員間での情報共有を意識することで利用者のニーズにいち早く対応することができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自分のコミュニケーション技術が足りないせいでうまく情報収集ができていないと感じる。
- ・疑問に感じるがあっても業務に追われ、確認が後回しになってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・職員間で声をかけ合い、情報共有を徹底する。疑問に感じたことは速やかに確認し、申し送る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月28日 (13:10 ~ 13:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	6人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<p>・利用者の思いや願望は日々変化することもあり。利用者に寄り添い、コミュニケーションを取ることで日々の細やかな変化に対応できるよう心掛ける。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・利用者とは十分にコミュニケーションを取ることを心掛けた。送迎時など家人と関わる時間も大切に、自宅での様子を聞き取ることで利用者に対する理解が深まった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	6	4	2	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	2	5	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	5	5	0	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	4	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・実現しにくい要望でも代替案がないか模索し、寄り添えるよう努力している。 ・利用者からの要望は職員間で共有できており、実現できるよう働きかけている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・利用者が「～したい」と望むことに対し傾聴することしかできていない。 ・自分の思いを発信できない方の思いをくみ取ることが難しい。憶測することしかできない。 ・業務優先で利用者に寄り添えていないと感ずることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
時間がある限り利用者に寄り添い、コミュニケーションをとる。ただ話すのではなく会話が利用者主体となるよう意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月1日 (13:20 ~ 13:40)

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	6人	0人	0人	13人

前回の改善計画
本人、家族とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を崩さない。職員間ではできるだけ速やかに情報共有を図る
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">新たに得た情報は赤ペンで記入するなど時系列が分かるよう努力した。コミュニケーションを図る中で自然と情報を得ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄と		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	5	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	13	0	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	8	1	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	11	2	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	0	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">それぞれの利用者の好みを把握し、個別対応が取れている。体調の変化には特に速やかな対応が取れている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">『以前の暮らし方』は家族も把握していないことがある。勤務形態が様々なのでどれだけ情報共有しても共有した情報にタイムラグが生じる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	『以前の暮らし方』初期支援の段階で可能な限り把握する。本人や家族だけでなく地域からも情報が得られるよう働きかける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月1日（13:20～13:40）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	4人	4人	2人	13人

前回の改善計画	地域資源の把握、その活用方法などを研究し知識を深めていく。利用者だけでなく職員が住む地域の情報も参考として収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源やイベントによっては申し込み方法が SNS のみであったり、事前登録が必要であったりと時代の流れを感じるがあった。時代に応じた知識と正確な情報収集の必要性を強く感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3	4	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	7	3	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4	7	2	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	2	8	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民とは挨拶を交わし、良好な関係を築いている。 ・近所の畑に誘われ、野菜の収穫や芋ほりをさせていただいた。 ・施設での様子は連絡ノートでできるだけ具体的に伝えている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で過ごす以外の時間はどのように過ごされているのか把握できていない(把握する必要性を考えたこともなかった)。 ・民生委員や地域資源は管理者やケアマネが把握していればいいと思っていた。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自宅で過ごされる時間に不便はないか、家族間の役割はどうなっているのかなど、職員一人一人が利用者の生活を包括的にとらえた上で具体的な提案ができるよう意識付けをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月3日（13:15～13:45）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	3人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のその時々ニーズ、利用者や家族を取り巻く状況の変化に速やかに柔軟に対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り柔軟な対応ができた。そしてただ柔軟な対応をするだけでなくその背景にある本人や家族の思いと事情をくみとることもできたと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	6	5	1	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	5	2	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	10	3	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	11	2	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・『柔軟な対応』が『何でもしてもらえる』わけではないことをきちんと理解していただけている。 ・利用者の状態や家族状況に合わせたケア、送迎時間の変更などは柔軟に対応できていると思う。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な対応と言いつつ特定の利用者だけが特別扱いになっていないか疑問を感じることもある。 ・急なニーズに応えられないこともあったが、どこまで応えたらいいのか即座に判断できないことがある。 ・家族からの申し出を重視し、本人の思いを後回しにしてしまうことがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・『本人主体』『自立支援』という基本的な介護目標を職員全体で再確認し共有する。誰のための柔軟な対応かを意識し日々のケアに当たる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月3日 (13:15 ~ 13:45)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	4人	1人	13人

前回の改善計画	<p>・地域密着型施設の役割を意識し、運営推進会議やサービス担当者会議に何らかの形で職員が参加できるように働きかけたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・運営推進会議やその他の会議への参加は何度かできた。参加できないときは職員からの質問や意見を事前に用意したりと工夫をしている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	2	8	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	7	2	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4	3	3	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	2	6	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・会議へは書面で参加 (意見や要望を記入) している。 ・各サービス機関とは管理者やケアマネが常に連絡を取り合っており、必要な連携は行われている。 ・年に数回ボランティアの訪問があり、利用者からは好評である。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・コロナ過以降はアポイントなしの来訪や地域住民のふとした立ち寄りが難しくなっている。 ・外部の会議は管理者が施設代表で参加しているので職員が参加しなくてもよいと思う。地域イベントなら参加しても良い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
書面やビデオ通話を活用し、引き続き連絡会や運営推進会議などに職員が参加できるよう工夫していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月8日(13:15～13:45)

7. 運営

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	3人	0人	13人

前回の改善計画	運営とは日々の業務の積み重ねで成り立っているものであるということを職員に意識付け、提案や意見等が積極的に発言できる職場を維持していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・苦情やヒヤリハットを見直すことで、身近なところから『運営』を意識することができた。送迎時にいただいた家人からの意見も職員間で共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	7	5	1	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	1	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	7	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	4	3	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日頃から地域住民とは良好な関係を保っていると思う。地域の方からの意見をいただいた場合には速やかに管理者に報告している。 ・意見が言いやすい職場であると思う。代表取締役に対しても意見が言いやすい。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域とは普段から交流があつたり秋祭りに参加したりはしているが、積極的な協働と言えるのかについては疑問に感じるところはある。 ・普段から必要とされる『地域の拠点』とは?開かれた事業所もいいが不審者対策もしっかりと行いたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
災害時だけでなく、普段から地域に必要とされる拠点となるための具体的な案を模索し、実践する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月8日 (13:10 ~ 13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	3人	1人	13人

前回の改善計画	・多くの職員が外部研修に参加できる体制を整え、職員の意欲や技術向上につなげたい
前回の改善計画に対する取組み結果	・ZOOMで行われる研修や会議に参加できた。しかしながら内部に向けての伝達研修は十分に行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	4	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	2	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	5	5	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	5	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・移動を考えなくてもよいZOOMの研修は非常にありがたい。緊急時にはすぐに現場に駆け付けることもできた。 ・各委員会は定期的開催されている。ヒヤリハットを活用し、リスクマネジメントも行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修は参加しただけで終わってしまう。その場では理解したつもりでいたが後日報告書を書くことが苦手である。 ・資格取得のために勉強する時間がない。 ・新しく始まったBCP関連が難しいと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・より多くの職員が外部研修に参加できる体制を整え、職員の意欲やスキルの向上につなげたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月8日 (13:10 ~ 13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	2人	0人	0人	13人

前回の改善計画	<p>・職員ひとり一人が利用者の人権やプライバシーについて意識したケアを行わなければならない。職員間での注意や助言、相談が円滑に行われる職場を目指す。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・職場内でのプライバシー保護を見直した。利用者の病状や訃報、家族の事情等はホール内で申し送りを行わないように十分に留意した。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	4	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	3	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	2	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ホワイトボードの記載はイニシャル表記を徹底し、記録物の保管にも気を付けている。職員間で利用者の状況を申し送るときにもイニシャルを使用している。</p> <p>・守秘義務を常に意識している。私語にも気を付けるようになった</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・業務を優先し、利用者の行動を制限してしまうことがある。</p> <p>・トイレ内での会話に配慮が足りなかったことがある。反省している。</p> <p>・申し送り時には個人情報を意識した会話ができているが、普段は出来ていないので気を付けたい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・職員一人一人が自分の行動や発言に責任を持ち、職員間での注意や助言、相談が円滑に行われる職場を目指す。</p>	